

平成27年度 新潟市北区文化会館 事業報告書

事業	実施日	会場	料金	入場者数	内容
<鑑賞事業> 鈴木功一ひとり芝居 「べっかんこ鬼」	4月18日 (土曜)	北 区 文 化 会 館	一般2,000円 中学生以下 1,000円	55人	俳優・鈴木一巧さんのひとり芝居。 児童文学で有名な、さねとうあきらの作品「べっかんこ鬼」を、鈴木さんが見事に演じきった。 世界観を盛り上げるための効果音楽として、クリスタルボウルの神秘的な音色は、鈴木さんの舞台と見事に融合し、素晴らしい公演となった。
<鑑賞事業> 精巧大型人形劇 「三国志」総集編	6月20日 (土曜)		全席指定 一般2,000円 中学生以下 1,000円 親子ペア券 2,800円	379人	三国志は、認知度も高い作品であり、またファンの多い作品でもある。 今回の公演は「総集編」で、エピソードとしても満足できる内容であると同時に、勲四等旭日小綬章受賞の川本喜八郎さんの人形美術、有川博さん・橋爪功さんなど一流の俳優による迫力の台詞も、作品を一層素晴らしいものにしていった。 カーテンコールではホール客席を操演者と人形と一緒に回り、真近に見れてお客様は満足の様子だった。
<鑑賞事業> 朗読劇 「この子たちの夏」 1945 ヒロシマ ナ ガサキ	7月20日 (月祝日)		全席指定 一般3,000円 中学生以下 1,500円	216人	公演では、女優たちとともに、地元の小学生から高校生までの女性6名が舞台上上がり、朗読劇を披露した。 満席とはならなかったが、終演後、涙をふきながら出て来られるお客様も見られ、出演者の熱演、又内容にも満足していただけた様子であった。
<鑑賞事業> 「赤いドレスのコンサート」 真夏に咲きそろう色とり どりの音の花々	8月23日 (日曜)		全席指定 一般2,500円 中学生以下 1,000円	313人	北区文化会館の開館以来、当館の多くの音楽文化事業で、音楽監督や指揮者、また公演出演者として、つねに支え続けてくださっている五十嵐尚子さんを中心に、県内外で活躍されている声楽家・演奏家によるコンサート。 内容はソプラノ独唱、二重唱、ピアノ独奏、パーカッションアンサンブル、デッチーノアンサンブルと、とても豊富で充実していた。
<鑑賞事業> 「なごみーず」 アコースティックナイト	9月12日 (土曜)		全席指定 一般5,000円	531人	伊勢正三さん、太田裕美さん、大野真澄さんの3人によるユニット「なごみーず」。 コンサート回数は200回を超え、ほのぼのとしたコンサートとして全国各地で好評を得ている。個々、またグループでの活動としても、名曲をたくさん残しており、今回のプログラムも、70年代の活躍をリアルタイムで聴いていたお客様には特に楽しんで頂けた。
<鑑賞事業> 演劇 「南阿佐ヶ谷の母」	11月15日 (日曜)		全席指定 一般4,000円	220人	公演初旬、木の実ナナさんが本番中に大腿骨を骨折するトラブルがあり、その後の公演が危ぶまれたが車イスで出演された。 お客様からは「車椅子での登場ながら、存在感あふれる演技で大変素晴らしかった。」等のお言葉をいただき好評だった。
<鑑賞事業> 「プラハ・バロック合奏団」 きよこの夜～クリスマス 名曲の贈り物	12月5日 (土曜)		全席指定 一般3,500円 中学生以下 1,500円	219人	新潟県文化振興財団を長にした「新潟県次世代の舞台芸術担い手育成事業実行委員会」のメンバーに北区文化会館も名を連ね、この委員会とともに主催として実施。文化庁の地域活性化・国際発信推進事業として助成を受ける。 この公演では、プラハ・バロック合奏団の演奏に合わせて、五十嵐尚子さん指揮のもと、北区少年少女合唱団がクリスマスの名曲を披露した。
<鑑賞事業> 人形劇 「てぶくろを買いに」 「くるみ割り人形」	1月9日 (土曜)		全席指定 一般1,500円 小学生以下 (3歳まで) 1,000円 親子ペア 2,300円	494人	新美南吉の童話「てぶくろを買いに」は、今でも多くの人に愛されている作品。自由自在に動き回るきつねの人形と、あたたかな感動に包まれる物語にお客さんも引き込まれていた。 チャイコフスキー原曲の「くるみ割り人形」では、人形たちがきらびやかな衣装をまとい、アクロバティックな踊りを披露した。
<鑑賞事業> 第6回 北区新春落語まつり 「風間杜夫・独演会」	3月6日 (日曜)		全席指定 一般3,000円 中学生以下 1,000円	538人	今回で第6回目を迎えた「北区新春落語まつり」。 演目二席のあと、アフタートークとして風間さんから俳優業の裏話や、落語家活動のお話を聞くことができた。途中から、風間さんの昔からの友人で、新潟で演劇活動をしているという栗田さんにもトークにご参加いただいた。客席のお客様からの即興質問の際には、冗談を交えて答えてくださる風間さんに、会場中が大盛り上がりとなった。
<鑑賞事業> 「北区 お笑いライブ2016」	3月19日 (土曜)		全席指定 一般2,800円 中学生以下 1,500円	189人	当日の客席は少し寂しさがあつたが、公演が始まると、出演者のテンポにのせられて、大盛り上がりとなった。コントに漫談、手品にバントマイムと様々な芸を、老若男女に楽しんでいただけた。
<創造事業> オペラ 「愛の妙薬」	10月4日 (日曜)		全席自由 一般2,000円 中学生以下 1,000円	429人	市民参加型の公演として、北区では初となる市民オペラを実施。 新潟オペラスタジオの桂木さんをはじめ、県内外で活躍している音楽家の方達からも、ソリストやオーケストラとして参加いただいた。 合唱メンバーは市民からの公募で募り、41名の方が参加。 初の試みであったオペラだったが、衣装や道具、メイクなど総勢80名の方からご協力いただき、当日無事に幕を下ろすことができた。
<創造事業> 第3回 「北区うたの祭典」	11月29日 (日曜)		全席自由 一般1,500円 中学生以下 1,000円	407人	今回で3回目となる「北区うたの祭典」。 音楽監督の五十嵐尚子さんと、合唱指導の長川慶さんの独唱ステージの他に、北区少年少女合唱団や、今公演のために公募で集まった市民で結成された「北区うたの祭典合唱団」の各ステージも披露。 最後には、実話を元にして作られた合唱組曲「ぞうれっしゃがやってきた」を全員で合唱した。
<創造事業> 北区ジュニア吹奏楽 「第1回定期演奏会」	1月17日 (日曜)		無料	230人	第1回定期演奏会では、団員16名と長岡大手高校音楽部と一緒に全6曲を披露した。 また吹奏楽交流として、北区内の中学校吹奏楽部にも参加していただき、ともに演奏会を盛り上げてくれた。 最後に全員で「ふるさと」を合奏した様子は圧巻だった。
<交流・発信事業>北区 音楽祭 2015	11月8日 (日曜)		無料	1,331人	第一部・ダンスの部に8団体、第二部・音楽の部に15団体が参加した。 北区内で活動中の音楽やダンスの団体が、日頃の練習の成果を発表。午前中のダンスの部に多くの子供たちが出演し、客席は家族や友人たちで大変にぎわっていた。午後の音楽の部では、午前中とは対照的にゆったりとした雰囲気ホール内に美しい歌声や楽器の音色が響いていた。 最後に出演者が全員ステージ上に集まり、観客と共に「水鏡」を合唱した。
<交流・発信事業>北区 フィルハーモニー管弦 楽団 「第5回ファミリーコン サート」	12月20日 (日曜)		全席自由 一般1,000円 中学生以下 500円	520人	今回の公演は「クリスマス」をテーマに、子供から大人まで家族みんなで楽しめるプログラムとなりました。第一部では、子供たちへ贈るクラシックを披露。第二部ではクリスマスの名曲として、「くるみ割り人形」の楽曲に合わせ、映像のスクリーン投影し、見ても聞いても楽しい演出を行った。
<交流・発信事業>私も ピアニスト!	4月3日から2 月3日まで 計15回	無料	延べ 195人	貸切のホールでフルコンサートピアノを自由に弾いてもらい、ステージの広さや、ホールならではの音響の良さを体験していただいた。 北区内のリピーターの他にも、新規の方も増え、開催後半には利用日予約が満杯になるほど、多くのお客様から参加していただけた。 今後も身近なホールとして、快適にご利用いただけるよう努めたい。	

事業	実施日	会場	料金	入場者数	内容
<交流・発信事業> 北区少年少女合唱団	4月5日から3月27日まで月1～3回の計31回 (日曜の午前中)	北区文化会館	北区内に住む、歌うことが好きな小学1年～中学3年生	472人	発足から3年が経過、団員も20名を超えるところまで成長してきた。 毎月2回の練習会を積み上げ、8月29日「メディアシップ音楽フェスティバル2015」・1月17日「福島湯ウインターフェスタ」・2月14日「にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2016」に参加出演。11月29日「北区うたの祭典」公演では「北区うたの祭典合唱団」と一緒に「ぞうれっしゃがやってきた」を合唱、12月5日「プラハ・バロック合奏団」公演では合奏団の演奏をバックにクリスマスソング3曲を合唱した。
<交流・発信事業> 北区ジュニア吹奏楽団	4月26日から3月20日まで月1～3回の計28回 (日曜の午前中)		楽器演奏が好きな小学5年～大学生までの市民	244人	平成27年4月に「北区ジュニア吹奏楽団」を結成。 月2回の練習の他に、10月10日・17日に「吹奏楽レベルアップ講座」を開催。団員はじめ団員以外の子どもたちも参加して、各楽器の講師について強化練習を実施した。 定期演奏会に向け、さらに12月にも強化練習会を実施するなど活動に力を入れ、団員も徐々に増えていき、年度末には団員数が20名を超えるまで成長した。
<交流・発信事業> センターコモン活用事業	3月25日		地域おこしや街の活性化、イベント企画等に興味のある市民	9人	若い地域住民や市民の企画やアイデアを生かし、会館センターコモンや駐車場等を活用しイベント等を開催、地域のにぎわいの創出に貢献したいと同事業企画委員を公募、次年度事業開催に向けた企画会議を開催した。
<交流・発信事業> 北区自治協議会提案・夏休み子ども交流事業 夏休み特別企画「バックステージツアー」	8月5日(水曜) 8月19日(水曜)		市内小・中学生とその家族	延べ13人	当館では初の試みとなる、ホールのバックステージツアーを行った。北区内の小学校に通う3組の親子が参加してくれた。はじめ緊張ぎみにホールの説明を聞いていた子どもたちも、音響照明の体験になると、お母さんと一緒にマイクで話すなどすると、緊張もほぐれ楽しく過ごしていただけた。
<普及・育成事業> アウトリーチ 「ヴァイオリンとマリナー」	5月21日(木曜)	早通南小学校	児童・職員・保護者 参加費100円	116人	校舎の棟をつなぐ2階の渡り廊下の一部、広々とした空間が今回の会場となった。 講師のお二人には、事前に校歌の楽譜をお渡しし、当日一緒に演奏していただくことにした。音楽の先生がピアノ伴奏をし、生徒たちが合唱しての全員参加となった。ヴァイオリンといっても大小様々な形や音色の違いに歓声をあげたり、テンポの速い曲では迫力ある演奏に息を飲んで鑑賞していた。
	5月22日(金曜)	にぎりかわ保育園	園関係者及び地域住民 参加費100円	163人	園児たちが飽きてしまわないように、プログラムに合唱を多く取り入れ、参加型の時間を多く設けた。「しあわせなら手をたたこう」は、先生方がステージに出てきて、手本となるよう振付を行い、それを見ながら園児も元気いっぱい手足を動かしながら歌っていた。終始、園児も先生も賑やかで、一帯感ある楽しい雰囲気で行われた。
		越岡保育園	園関係者及び地域住民 参加費100円	98人	小規模での開催であったが、かえってアットホームな心地よい雰囲気で行えた。開演前、園長先生が男の子の人形を持ち、腹話術をしながら園児たちに講師紹介などを行ったため子供達は大喜び。演目もアニメや童謡などの曲を取り入れ、園児たちは体全体でリズムをとったりしながら歌っていた。
<普及・育成事業> アウトリーチ 「狂言」	6月4日(木曜)	葛塚東小学校	児童・職員・保護者 参加費100円	110人	会場内を公演舞台と考え、土足厳禁とし生徒たちは廊下で靴を脱いで裸足での参加となった。初めに「柿山伏」のあらすじを説明していただいたから鑑賞したので、子どもだけでなく、大人もわかりやすく観ることができた。体験の時間では、正しい挨拶の仕方や、音を立てずすり足で移動したりして、様々な所作を学んだ。
	6月5日(金曜)	岡方第二小学校	児童・職員・保護者 参加費100円	113人	会場内を公演舞台として見立てて、児童や先生が一列に並び、体育館の端から端までをすり足で駆け抜けていた。また、狂言に出てくる動物の鳴き声クイズでは、現在一般的に使われている鳴き声とは全く違う言葉での鳴き真似を講師が行い、児童たちは大きな声で正解だと思う動物名を答えていた。
		長浦コミュニティセンター	利用者 施設関係者	113人	近所の御年配の方や、近くの小学校の児童に集まっていたが、幅広い年齢層での開催となった。「柿山伏」では、大人と子供で笑う場面が違ったりと、他会場ではなかった反応を見ることができた。すり足で早く移動する体験の際には、「がんばれ！がんばれ！」と、掛け声が上がるなど、地域住民の一体感を強く感じることも出来た。
<普及・育成事業> アウトリーチ 「ハーブ」	7月2日(木曜)	岡方第一小学校	児童・職員・保護者 参加費100円	129人	全校生徒の為、会場は体育館で実施した。入場した子供たちが、生のハーブを見つめながら、そわそわ気になっているのがうかがえた。生徒も先生も、直に床に座りながら演奏を聴いてもらった。曲によっては寝転がって聞いてみる曲もあり、普段のコンサートとは違ったスタイルで体験してもらった。高学年の代表者には弦をはじいて音を出したりする体験も行った。
	7月3日(金曜)	葛塚中学校	児童・職員・保護者 参加費100円	90人	3年生の授業の一環として音楽室で行った。始業のチャイムと共に奏者が教室に入場するなど、学校らしい演出も行った。吹奏楽部の生徒が体験で音を鳴らしてみると、周りの生徒からは、にぎやかな掛け声が飛び交った。最後にハーブで伴奏をつけた校歌を全員で歌い、有意義な音楽の時間となった。
		新屋敷まつはま園	利用者 施設関係者	105人	施設利用者の他に、近隣住民のかたも参加してくれた。 車いすやベッドに寝た状態の方も多かったが、施設スタッフが手際よく誘導し、会場は溢れるくらいの参加になった。実際に体験は厳しいので、伴奏に合わせて「ふるさと」を合唱。皆で歌うことは施設でも日常的に行われていると思うが、生の演奏に合わせて歌うことは、又違った体験として参加者には印象に残ることだと思う。
<普及・育成事業> アウトリーチ 「リコーダーとリュート」	10月8日(木曜)	木崎コミュニティセンター	利用者 施設関係者	25人	周辺地域のご年配の方々が聴きに集まってくださったため、内容も楽器の由来や歴史などの説明を多くしていただいた。縄文時代の遺跡から発見された笛を、陶芸用の土で模造したとして吉澤講師お手製の笛も披露された。その他にも、貝に穴を開けたもの等、大小様々な笛を見ることができた。
	10月9日(金曜)	二葉保育園	園関係者及び地域住民 参加費100円	90人	「少しでも近くで」という講師の言葉通り、遊戯室のステージは使わず、床に座っている園児たちの目の前で演奏を行った。2歳児クラスでは、「演奏会だから」と、頭にカラフルなおもちゃの飾りをつけ、きれいな色布を巻き、おしゃれをして参加してもらった。教育テレビ等の人気アニメの曲が流れると、園児たちは自然と歌いだし、会場が振動する程の大合唱となった。園児たちのとっても楽しげな全力の歌声にとっても感動した。
		デイサービスセンター豊栄園	利用者 施設関係者	62人	参加者はご年配の方が多く、開演の前に全員で軽い準備体操を行うなどの光景が見られた。 本番中、リュートの弦が19本あるとの説明の際には、客席の御老人から「たいしたもんだ！」とのかけ声も聞こえた。美しい音色に目をつぶり、しっかり耳を傾けている方や、講師の指の動きをしっかりと見つめている方等、様々な楽しんでいただけた。
<普及・育成事業> 演劇ワークショップ 「ミュージカルであそぼ！！」	12月25日から2月21日までの計10回 (金・土・日曜)	北区文化会館	一般市民 1人3,000円	26人	演劇の歌、踊り、表現を、「美女と野獣」の1シーンを実際に演じながら学ぶワークショップ。 最終日には学んだ成果を、参加者全員で発表した。